



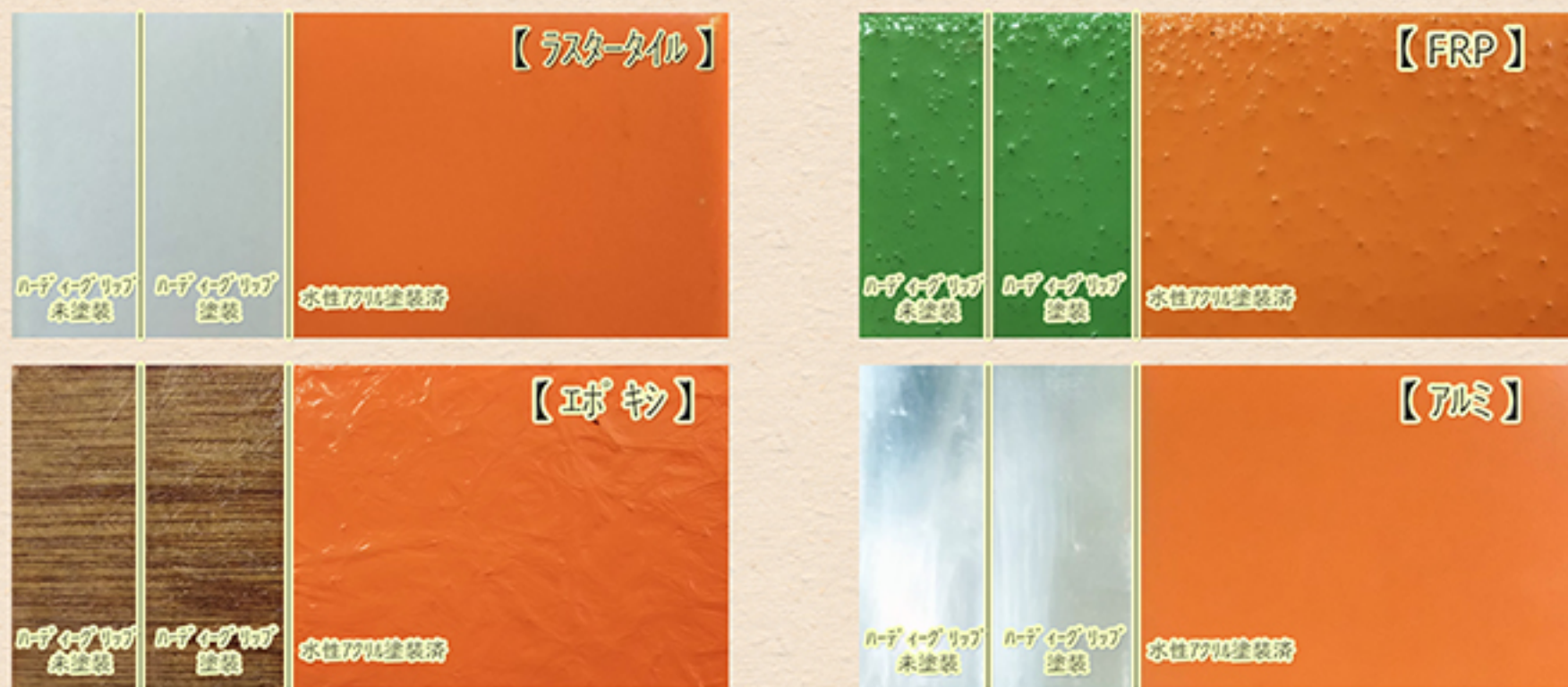
ハーティークリップ[®]

速乾性オールマイティプライマー

 Pioneer Chemistry Industry
パイオニア化学工業株式会社

速乾性オールマイティプライマー・ハーディーグリップとは
 ハーディーグリップは特殊合成樹脂を主成分として開発された、オールマイティに使える速乾性一液性プライマーです
 従来から難施工箇所とされてきた強化コンクリート・陶磁器タイル・金属・ガラス・プラスチック・FRP・エポキシなどに使用出来ます

【ハーディーグリップ施工後水性アクリル塗料を塗布】



特徴

- 一液性なので施工が簡単
- 速乾性のため工期を短縮
- 上塗塗料は水性・油性・弱溶剤・強溶剤が使用可能

用途

- 強化コンクリートの改修工事
- 陶器・磁器タイルの塗り替え
- 軽金属・重金属への塗装や改修工事
- ガラス面への塗装
- アクリル系・塩ビ系・ウレタン系・FRP・エポキシ系の塗り替え
- ポリウレタ樹脂の層間プライマー

施工要領

【前処理】

- 施工面の清掃・錆の除去及び完全乾燥・脱脂（ラッカシンナーやトルエンを使用）してください
- 特に金属・アクリル・FRP・ウレタン・ガラスなどの可塑剤がある下地や油分を吸着しやすい素材は十分に脱脂してください

【ハーディーグリップの施工】

- 小分けして無希釈で使用してください
- ウールローラーやハケ・エアレスで塗布してください

【養生】(25°C時): 1~72時間=使用量により変動あり

【仕上げ施工】

- モルタル下地を作りたい場合やモルタルなどで不陸調整する場合は弊社製品のP-IIを使用後施工してください

※ 揮発性が高いのでマスク着用のうえ十分に換気をし、火気厳禁で施工してください

※ 標準塗布量

- 金属・磁器タイル・エポキシ・塗装面など吸い込みが少ない箇所=80~100g/m²
- 強化コンクリート・モルタル・素焼きタイルなど吸い込みが多い箇所=200~250g/m²

施工上の注意

- ハーディーグリップは溶剤を含みますので十分に換気をしてください
- 施工面が高温(40°C以上)時は極端に乾燥が早くなるので注意してください
- 日光にあたりと変色する可能性がありますので、直接クリアー仕上げは出来ません
- シンナーなど溶剤で希釈しないでください
- プラスチック製品はクラックを生じる恐れがありますので事前にテストしてください
- 湿度が80%以上または結露が発生しやすい箇所、養生中雨の恐れがある時は施工を避けてください

塗布量・標準施工面積

標準塗布量: 80~250 g/m²

標準施工面積: 12~37 m²/3kg缶

: 60~187 m²/15kg缶

(下地状態により大幅に変動する場合あり)

容量

3 kg 入 / 15 kg 入





ハーディーグリップ物性・性能データ

成分	ビニール樹脂溶液			
外観	透明			
粘度	5.87 cPa·s (25℃)			
比重	0.915			
乾燥時間	指触乾燥	15分 (25℃)	完全乾燥	60分 (25℃)
上塗可能時間	60分以上 (25℃)			

試験項目	試験条件	
耐水性	水道水3ヶ月漬込	○

試験項目	試験条件	
耐酸性	5%塩酸 24時間浸漬	○

試験項目	試験条件	
耐アルカリ性	5%水酸化ナトリウム 24時間浸漬	○

● 下地密着性 (金属)

試験項目		試験項目		試験項目		試験項目	
アルミ板	○	ステンレス	○	溶融亜鉛メッキ	○	鉛	○
トタン	○	クロムメッキ	○	銅板	○	ガルバリウム鋼板	○
ブリキ	○	電気亜鉛メッキ	○	軟鋼板	○	ホーロー	○

● 下地密着性 (無機系)

試験項目		試験項目		試験項目		試験項目	
強化コンクリート	○	ガラス	○	素焼きタイル	○	ベニヤ合板	○
モルタル	○	磁器タイル	○			ケイカル板	×
日本瓦	○	陶器タイル	○			いぶし瓦	×

● 下地密着性 (有機系)

試験項目		試験項目		試験項目		試験項目	
硬質塩ビ板	○	ウレタン	○	ポリウレア樹脂	○	ポリカーボネート	○
アクリル板	○	アクリル	○	水硬ウレタン	○	ポリプロピレン	×
FRP	○	エポキシ	○	ABS	○	ポリエチレン	×

● 上塗密着性

試験項目		試験項目		試験項目		試験項目	
水性ウレタン塗料	○	FRP	○	油性アクリル系塗料	○	アクリルウレタン樹脂	○
水性アクリル塗料	○	油性ウレタン系塗料	○	ABS	○	エポキシ樹脂	○

※ 下地処理は溶剤脱脂・完全乾燥が必要
※ 吸い込みの多い場所は2回塗りが必要

※ ABSとポリカーボネートはエアレスで薄塗り

取扱上の注意

保管温度は5℃以上40℃以下で保管してください

直射日光を避けて、常温で保管してください

落下・破損がないように、荷崩れ防止等の配慮をしてください

河川・側溝などに絶対に破棄せず、産業廃棄物として各自治体の規定に沿って処分してください

安全上の注意

目・皮膚などの接触を防止するために、保護めがね・保護手袋など着用してください

目に入った場合は、清水で数分間洗浄し直ちに医師の診断を受けてください

皮膚に付着した場合肌荒れを起こす事がありますので直ちに水洗いをしてください

誤って飲み込んだ場合は多量の水を飲み吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください

詳細な内容につきましては製品安全データシート(SDS)をご参照ください

記載内容は製品改良などにより、断りなく仕様変更をする場合がありますのでご了承ください

